

第5章 地域別重点推進事項

1 中北地域

(1) 特色ある農畜水産物の生産振興と高付加価値化の推進

中北地域は、標高200mから1,000mを超える地域において農業が営まれており、県内の米生産量の約5割を占める水田農業や果樹の産地が形成され、盆地中央部では平坦な地形を生かした野菜や花きの生産が盛んとなっています。また、冷涼な気候や長い日照時間等の自然条件を生かした野菜等の生産や畜産経営が行われるとともに、有機農業が盛んに取り組まれ産地としての認知度が向上しています。

今後は、より一層の産地の強化を目指し、特色ある水田農業の推進、新たな技術の導入やブランド力の強化、高付加価値化の推進等に取り組みます。

①競争力のある農畜産物の生産振興と生産性向上による産地の強化

▶ ニーズに合致した優良な農畜産物の生産拡大

- 「梨北米」、「富穂」等のブランド米の高品質・安定生産技術の普及
- 県オリジナル品種「サンシャインレッド」、「夢みずき」、「皇寿」等の果樹の早期産地化と高品質安定生産技術の普及
- 甲州牛、甲州富士桜ポーク、甲州地どり等の甲州統一ブランド食肉の品質向上と生産拡大に向けたICT技術導入支援
- 露地栽培のなす、スイートコーンや施設栽培のトマト、きゅうり、いちご等の平坦地における主要野菜の生産振興

▶ 生産性向上や高品質化の推進

- IoT、AIの活用や作業の自動化等、地域に適したスマート農業技術の導入支援
- 生産管理の効率化や円滑な技術継承に向けたデータ農業の確立及び普及推進
- 果実の共同選果場等の再編整備や農業施設・機械の高性能化等に対する支援

▶ 地域性を生かした生産・販売の推進

- 地域の特性に合った新品目等の導入検討や生産拡大に向けた支援
- 冷涼な気候など地域の特徴を生かした有利販売に向けた野菜生産の推進
- 花きの新品種・有望品種の導入支援や販売力強化による産地の活性化
- 自給飼料の増産と積極的利用の推進による安定した畜産経営の実現

②水田フル活用による特色ある水田農業の推進

▶ 需要に応じた転作作物の生産推進

- 麦、大豆、そば等の転作作物の生産性向上及び生産拡大に向けた支援
- 飼料用米等の作付け及び利用の拡大に向けた耕畜連携の取り組み支援
- 地域に適した酒造好適米・加工用米の導入推進と生産拡大に向けた支援

▶ 生産性向上による経営安定化

- 極早生品種の導入や非主食用米との組み合わせによる労力分散の推進
- 農地の集積・集約化による効率的な機械利用の推進

③新たな付加価値を生み出し持続可能で訴求効果の高い農業の推進

▶ 環境への配慮や安全・安心への取り組み推進

- 有機農業の生産技術の実証・普及、有機農産物流通促進・交流支援セミナーの開催、補助事業の活用等により有機農産物の生産拡大・販売促進を支援
- 4パーミル・イニシアチブの普及促進と認証取得支援
- やまなしGAPなど各種GAPの新規導入及び取り組みの継続・高度化支援

▶ 高付加価値化への取り組み推進

- 「やまなし農山村発イノベーションサポートセンター」と連携した支援体制による地域農産物を活用した新商品開発や6次産業化の推進
- やまなしアニマルウェルフェア認証制度の取得拡大によるブランド化推進

(2) 地域資源を生かし多様な人材が活躍する活力ある農村づくり

南アルプス連峰や八ヶ岳南麓の高原など恵まれた自然環境の中で、観光農園や農産物直売所、クライנגアルテン等に多くの人々が訪れ、地域住民との交流も積極的に行われています。また、当地域へは毎年県全体の半数程の新規就農者があり、様々なスタイルの農業経営が行われています。さらに、大規模な基盤整備や農地集積を図る中で企業の農業参入や新たな農業法人の設立が進んでいます。

今後も、地域資源を生かした都市農村交流やため池の改修などの防災・減災対策、農業基盤の整備等による担い手への農地集積、鳥獣被害防止対策等をなお一層推進し、多様な人材が活躍する活力ある農村づくりを目指します。

①担い手の確保・育成と計画的な農地活用の推進

▶ 多様な担い手の確保・育成と定着の促進

- 多様な担い手の円滑な就農と地域への定着に向けたサポート体制の拡充
- 新規就農者の早期技術習得及び経営安定化に向けた研修制度等の充実

- 障害者等の活躍促進と地域農業の新たな担い手創出に向けた農福連携の促進
- 専門家や関係機関と連携した支援体制による法人化や企業的経営の推進

▶ 担い手への農地集積・集約化の推進

- 地域が目指す将来の農地利用の姿を明確化する地域計画の策定支援
(中北地域では、7市町136地域を想定)
- 「地域計画」の実現に向けた担い手等への円滑な農地貸借の促進
- ニーズに応じた条件整備や補助事業の活用など総合的な支援による企業の農業参入や経営規模拡大の推進
- 農地中間管理機構の活用による荒廃農地解消と担い手への農地集積推進

②農村地域の魅力を生かした都市農村交流の推進

▶ 地域資源の利活用促進

- 地域資源を生かした農泊やワーケーション等による地域・業種を超えた交流推進
- 農産物直売所や観光農園の充実に向けた施設整備及び商品開発の支援
- 農業・農村体験や交流の場となる市民農園や体験農園等の設置・活用支援

③農村地域の保全・強靱化と生産基盤の強化

▶ 成長産業化に向けた基盤整備の推進

- 担い手の規模拡大や企業の参入に向けた省力化・効率化に適した基盤整備の推進
- 高収益作物への転換や産地形成に向けた、きめ細かな基盤整備の推進

▶ 農村環境や農業用施設の保全管理と防災・減災対策

- 日本型直接支払制度の活用による維持管理の共同活動や営農活動等の支援
- 果樹産地を支える釜無川右岸畑地かんがい施設など基幹的水利施設等の計画的な改修・更新による長寿命化対策の推進
- 防災重点ため池や農業用水利施設等の整備による防災・減災対策の推進
- 野生鳥獣の生育環境調査や追い払い活動等、地域ぐるみの被害防止活動への支援

2 峡東地域

(1) ブランド価値の向上による産地の競争力強化

峡東地域はぶどう、もも、すももを中心に、県内果樹生産の約7割を占める一大産地に発展してきました。高品質な果実は地域ブランドとして確立され、その品質の高さは海外からも高い評価を得ているとともに「甲州」を中心とした県産の日本ワインも国内外で人気が高まっています。

また、令和4年7月には、特色ある果樹農業システムが世界農業遺産に認定され、今後とも、世界に誇れる果樹産地として維持・発展させていく必要があります。

このため、生産の効率化や高品質安定生産の推進を図るとともに、ブランド価値を高める商品づくりや更なる輸出の拡大を支援し、産地競争力につなげます。

①果実の高品質化と輸出拡大等による産地の競争力強化

▶ 果樹の高品質・安定生産の推進

- 「夢みずき」「夢桃香」「甲斐キング」「サンシャインレッド」等の県オリジナル品種の栽培技術向上と産地化支援
- 気象の影響を受けにくいハウス栽培や簡易雨よけ施設等の普及促進や雨よけ施設を活用した抑制栽培技術等の普及
- 醸造用甲州の推奨系統や産地の奨励品種への改植・新植の更なる推進

▶ 果樹における先進的技術の導入推進

- 果樹に適したスマート農業技術の導入促進
- データ農業技術の導入による生産性向上

▶ 果実の出荷体制の強化と輸出拡大

- 輸出促進や出荷体制の強化に向けた共選所の再編整備や高機能化の支援
- 果樹の輸出検疫措置への対応に向けた防除情報の提供や検査体制の強化
- アジア諸国を中心とした輸出拡大と販売促進活動への支援

②高付加価値化・ブランド化の推進

▶ 環境保全型農業やGAPの定着による農業の高付加価値化

- 果樹における草生栽培の取り組みや化学肥料及び化学合成農薬の低減に向けた取り組みに対する支援
- 4パーミル・イニシアチブの普及拡大による農産物の高付加価値化の推進
- やまなしGAPの取組継続と高度化に向けた支援
- 有機農産物の安定生産に向けた栽培技術指導と販路拡大支援

➤ 6次産業化の推進と販路拡大

- 峡東地域6次産業化推進会議を通じた6次産業化商品のPR・販売支援
- やまなし農山村発イノベーションサポートセンターとの連携による研修会の開催や経営改善指導及び加工施設整備に向けた支援

➤ 高品質で安全安心の確保による地域ブランドの訴求

- ブランド力の向上に向けた「おいしい未来へ やまなし」の活用推進
- 峡東地域特選農産物ブランド化推進会議による効果的なPR活動の実践

(2) 担い手の確保・育成と生産基盤の更なる強化

近年の好調な果実販売を背景に、果樹農業に取り組む新規就農者が増加しており、更なる担い手確保とともに、円滑な就農定着に向けた環境整備が重要となっています。

このため、地域計画の着実な推進と産地を支える多様な担い手の確保・育成とともに、低コスト化に向けた基盤整備や集出荷体制の再編整備、担い手への農地集積等を進めます。

①多様な担い手づくりと計画的な農地利用の推進

➤ 産地を支える認定農業者等の担い手の育成

- 認定農業者等担い手の育成に向けた経営改善指導
- 峡東地域担い手育成・農地対策会議を通じた関係機関との連携強化
- JA出資型法人との連携による担い手の確保・育成

➤ 新規就農者等の確保と経営の安定化

- 円滑な就農支援と新規就農者等の経営安定化に必要な支援制度等の活用支援
- 栽培技術習得や経営者能力の向上に対する支援
- 関係機関との連携強化により、農地の斡旋や住居の確保など円滑な就農定着に向けた総合的な支援
- 福祉施設と農業者との円滑なマッチングによる農福連携の推進

➤ 農地利用のあり方を見据えた地域計画策定や基盤整備の推進

- 地域計画における協議の場の設定と目標地図の策定支援
(峡東地域では、3市28地域を想定)
- 地域計画の実現に向けた担い手への農地の集積・集約化の推進
- 地域農業の将来構想を踏まえた基盤整備の着実な推進

② 持続可能な産地形成に向けた基盤整備と地域ぐるみによる農地の保全管理

▶ きめ細やかな基盤整備による担い手への農地集積の推進

- 担い手のニーズに即したきめ細かな基盤整備の推進
- スマート農業の実装に向けた基盤整備の推進
- 中山間地域等の条件不利地における小規模な農地の集約化など営農環境の改善に向けた基盤整備の推進
- 日本型直接支払制度の活用による維持管理の共同活動や営農活動等の支援
- 鳥獣害防止対策協議会と連携した被害防止対策の推進

③ 世界農業遺産など峡東地域の特色を活かした地域活性化

▶ ワイナリーや観光農園等の集客拠点を活用した農業の高付加価値化

- ワイナリーや観光産業等と連携した魅力発信及び農産物や加工品の販売促進
- 市民農園の活用と農泊を核とした都市農村交流等の推進

▶ 世界農業遺産の保全と活用に向けた取り組みの推進

- 世界農業遺産保全計画に基づく果樹農業システムの保全活動への支援
- 産地の知名度向上と誘客促進に向けた観光やワイナリーとの連携強化

④ 防災・減災対策による農業用施設の強靱化

▶ 持続可能な農業を支える農業用施設の更新整備、長寿命化対策

- 頻発する大雨等による洪水被害に備えた農業用水利施設等の整備
- 経年変化等により機能低下する畑地かんがい施設等の農業用施設の機能保全や長寿命化対策の推進

3 峡南地域

(1) 地域特産物の生産振興とブランド化

峡南地域は、県の南部に位置し、管内のほぼ中央を流れる富士川に注ぐ支流域ごとに、市川三郷町のスイートコーンや「大塚にんじん」、富士川町のゆず、身延町の「あけぼの大豆」、早川町のヤマブドウ、南部町の茶など、地域の気候風土に適したこだわりの農産物が数多く生産されています。

こうした特色ある農産物の生産振興を通じて地域農業の活性化を図るため、高品質化や安定生産、低コスト化に向けた栽培技術の普及を推進します。また、地域特産物の6次産業化、農産物や加工品の販売促進を支援するとともに、特産物のブランド化を図り、販路拡大を推進します。

①地域特産物の生産振興と利活用の推進

▶ 特色ある農産物の高品質・安定生産に向けた技術確立・普及

- 「甘々娘」や「大塚にんじん」、「ゆず」、「あけぼの大豆」、「ヤマ・ソービニオン」、「茶」などの高品質及び安定生産技術の普及
- 省力化につながる新たな生産資材等の導入に向けた実証ほの設置及び検証
- 農産物直売所等への出荷量及び品目増加や流通体制の構築による生産者の所得向上
- 抑制スイートコーンなど他産地との差別化を図る地域特産品の普及推進

▶ 先進的技術の導入による生産性の向上

- スマート農業の導入による水稻やスイートコーンの栽培管理の省力化
- データ農業の導入に向けた先進的な栽培技術等の実証

▶ 持続可能な農業への転換

- 飼料用米栽培や家畜排せつ物の堆肥利用などによる耕種農家と養鶏農家との連携の推進

▶ 販路拡大と6次産業化の推進

- ニホンジカや富士の介などの新たな加工品開発や販路開拓の支援、情報発信などによる地域特産物の活用推進

②地域特産物のブランド化の推進

▶ 特色ある農産物のブランド力の向上

- 地理的表示（G I）保護制度に登録された「あけぼの大豆」のブランド化の推進
- 茶の被覆栽培や有機栽培などの高付加価値化や、プレミアムティーをフラッグシップとしたブランド価値向上への支援

- 地域特産品や関連商品の周年供給による、産地知名度の向上支援

(2) 地域資源を活かした魅力ある農村づくりと生産基盤の更なる強化

中部横断自動車道の整備により、中央道や東名高速方面から峡南地域へのアクセスが格段に向上しました。管内には増穂 I C～富沢 I C間に計 7ヶ所のインターチェンジが設置されていることから、自動車道開通の効果を生かし、地域に人を呼び込むためには、これまで以上に魅力ある地域づくりと情報発信が必要です。峡南地域の多様な資源を活用した魅力ある農村づくりを地域ぐるみで推進するとともに、人口減少と高齢化の進行に対応するための新たな担い手の確保・育成や、持続的な発展に向けた防災・減災対策に取り組めます。

①新規就農者の確保と多様な担い手の育成

- ▶ 就農希望者、新規就農者の定着に対する支援
 - 地域内における研修先の紹介や各種事業、資金制度の情報提供
 - 深刻な高齢化や担い手不足に対応するため、新規就農者の経営の課題解決に向けたサポート体制の強化
- ▶ 地域リーダーの育成・支援
 - 地域内において農業者を牽引するリーダー的役割を担う者の育成・支援
- ▶ 多様な担い手の育成等と農福連携の拡大
 - スイートコーンやなす、茶生産などにおける中核となる経営体の育成支援や、退職帰農者及び半農半 X の取り組みへの支援
 - 障害者への就労機会の提供と農業分野の労働力確保のため、福祉施設と農家等とのマッチング支援

②地域資源を活用した農村地域の保全・活性化と基盤整備

- ▶ 農地の集積・集約化の推進
 - 中山間地域における将来の姿を明確にするため、町、農業委員会における地域計画策定への支援（峡南地域では、5町28地域を想定）
 - 地域計画の実現に向けた担い手への農地集積・集約化の推進
- ▶ 成長産業化に向けた基盤整備
 - 「あけぼの大豆」など地域特産物の生産拡大を目指し、荒廃農地の再生と農業生産基盤の整備の推進
 - 農業参入を希望する企業のニーズに合う農地の確保や基盤整備などの支援

➤ 農村地域の振興・活性化

- 中部横断自動車道を軸に異業種と連携した都市農村交流の促進、特色ある農産物、食文化の継承に向けた取り組みへの支援
- 富士川町平林地区の棚田など農村景観の保全を推進するため、日本型直接支払制度等の活用推進

➤ 地域ぐるみの野生鳥獣被害対策

- 市川三郷町川浦地区における獣害防止柵設置など被害防止施設整備への支援

③農地の保全活用、農業用施設の耐震化等による農村の強靱化

➤ 頻発化・激甚化する自然災害への対策

- 農道や橋梁、ため池、用排水路、富士川流域の排水機場などに対する耐震化や豪雨対策等の推進

4 富士・東部地域

(1) 恵まれた立地条件を活かした農業振興

富士・東部地域は、大消費地に近い立地条件や、冷涼な気候や豊富な湧水等の自然条件を活かし、高原野菜をはじめ、花きや酪農、内水面漁業等が行われています。

こうした地域の特性を踏まえた農業の一層の振興を図ります。

①特産農水産物のブランド価値の向上

- ▶ 「富士山やさい」の安定生産と品質向上
 - スイートコーンなど主要野菜の安定生産技術の普及
 - 出荷品質の向上と販路拡大など販売力強化に向けた支援

- ▶ 地域特産野菜の生産振興と販売拡大の推進
 - 富士の湧水を利用したクレソンや水ネギなどの地域特産野菜の生産振興
 - GWレタスなど農産物直売所の需要期の出荷拡大に向けた品目・作型の導入支援

- ▶ 地域特産花きの安定生産と販売強化
 - ビオラやニオイザクラ等の低コスト化・高品質化栽培技術の導入支援
 - ふじさんアジサイ等新規品目の生産拡大と飾花利用など新たな販路開拓への支援

- ▶ 新規導入果樹の生産拡大
 - ももやぶどうなど新規導入果樹の安定生産と生産拡大に向けた支援

- ▶ 内水面漁業の振興
 - 県ブランド魚「富士の介」やヤマメなどの生産振興に向けた支援
 - ワカサギ・ヒメマス等を活用した遊漁など内水面漁業振興

②畜産経営における生産基盤の強化と地域ブランド化の推進

- ▶ 持続的な畜産経営に向けた生産基盤の強化
 - ICT等の新技術を活用した高機能な機器等の導入支援
 - コントラクター組織や酪農家による高品質かつ安定的な自給飼料生産の推進
 - 家畜伝染病予防法に基づく飼養衛生管理基準の徹底による家畜防疫体制の強化

- ▶ 畜産の高付加価値化を目指した新たな飼養管理の取り組みを支援
 - 地球温暖化に対応した牧草品種の導入や放牧技術の普及
 - アニマルウェルフェアの推進とグラスフェッドビーフの実証支援

(2) 地域農業を支える担い手の確保・育成と観光資源を活かした農山村の活性化

富士・東部地域は、富士山等の豊富な観光資源を有しており、道の駅等における地元農産物の直売や観光農園の開設等、観光農業が活発に展開されています。

こうした豊富な観光資源を活かした美しい農村景観の保全活動に加え、地域農業を支える担い手を確保・育成し、農山村の活性化を推進します。

①高原野菜・花き・酪農などの特色ある農業を支える担い手の確保と農地集積の推進

▶ 新たな担い手の確保・定着の促進

- 畜産農家のゆとり創出のため、ヘルパー制度の取り組みを支援
- 障害者等の農業分野での活躍と農業の働き手確保に向けた農福連携の推進

▶ 担い手への農地集積の推進

- 市町村や農業委員会等による富士・東部地域の特性を踏まえた地域計画の策定を支援
(富士・東部地域では1 2市町村1 2地域を想定)
- 規模拡大に意欲的な農業者や企業等に対し、地域計画を踏まえた農地集積を促進

②多様な産業との連携による地産地消・地産訪消の推進

▶ 観光と連携した地産地消・地産訪消の推進

- 道の駅等におけるニーズの高い農産物や加工品の充実にに向けた支援

③鳥獣被害防止対策の推進

▶ 地域ぐるみによる鳥獣被害防止対策の強化

- 追払い等の組織活動や被害防止施設の整備等、効果的な鳥獣被害防止対策の推進
- 地域ぐるみによる鳥獣被害防止対策を支援

▶ ジビエの利活用の促進

- シカ肉処理施設の整備と供給体制の強化を支援
- やまなしジビエ認証制度の活用と魅力発信などの取り組みを支援

④美しい農村景観の維持と農地・農業用施設の保全・整備の推進

▶ 美しい農村景観や農業の多面的機能の維持と環境と調和した農業基盤の整備

- 用排水路、農道等の維持・管理などの地域活動の支援や地域の特性やニーズに応じた基盤整備の推進

▶ 近年頻発する集中豪雨などの自然災害による被害の未然防止

- 農業用水利施設やため池等の豪雨・耐震対策や中山間地域における総合的な防災対策の推進

5 地域で目指すべき経営モデル

ここで示す経営モデルは、各地域で効率的かつ安定的な農業経営を実践している経営をモデル化したもので、経営の将来像を具体的にイメージしてもらうための参考資料として示すものです。

地域の中心的な役割を担う農業者の目安となる「標準農業経営モデル」と、収益性が高く優良経営のモデルとなる「高収益農業経営実践モデル」の2つのモデルを示しました。

【作成にあたっての前提条件】

普及指導員が農家の経営指導等の際に活用している農業経営指標（令和5年3月改定）を基に経営モデルを作成しました。

高収益経営実践モデルは、農業所得15,000千円以上として地域の優良事例の品目や作付面積等を参考としました。

（試算条件）

経営面積 地域の優良事例の栽培面積を基本としました。

（作型の組み合わせや輪作による延べ面積）

単 価 直近5年間の市場価格を参考としました。

労働力 労働力は原則として主たる従事者2人とし、不足する労働力は雇用により確保することとしました。

労働時間 主たる従事者の年間労働時間は1,800時間としました。

雇用労賃 時給×労働時間で積み上げ、時給については900円としました。

地 代 専業農家の平均自己所有面積を上回る分については、地代を見込みました。

農業所得 「粗収益－経営費」で算出。

補助金 水稻のモデルでは、経営所得安定対策等による交付金収入を見込んで算出しました。

(1) 標準農家経営モデル

< 標準農業経営モデルの一覧 >

類型	経営規模	粗収益 (千円)	農業 所得 (千円)	経営のポイント (品目・品種構成、栽培技術など)	想定 地域
No. 1 果樹専作	経営面積 115a ぶどう(小粒種) 15a ぶどう(大粒種) 90a 未成園 10a	18,476	10,061	<ul style="list-style-type: none"> ・発芽促進剤や簡易雨よけを利用した生育差による労力分散、短梢せん定栽培の導入や省力化技術の導入により規模拡大を図る。 ・地域の特性、顧客のニーズに応じた品種、栽培方法、栽培面積の組合せを検討する。 	峡東
No. 2 果樹専作	経営面積 70a 施設ぶどう(大粒種) 早期加温 15a ぶどう(大粒種) 25a 未成園 30a	17,663	10,227	<ul style="list-style-type: none"> ・早期加温栽培では、二度切り栽培や炭酸ガス施用など、安定生産、収量向上技術を導入する。 ・露地栽培は、短梢せん定栽培の導入による省力化を図る。 ・地域の特性に応じた品種、栽培方法、栽培面積の組合せを検討する。 	峡東
No. 3 果樹専作	経営面積 155a もも(早生種) 70a もも(中生種) 65a もも(晩生種) 15a 未成園 5a	25,718	10,008	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の特性、顧客のニーズに応じた品種、栽培方法、栽培面積の組合せを検討する。 	中北 峡東
No. 4 果樹複合	経営面積 140a もも(早生種) 25a もも(中生種) 50a もも(晩生種) 15a ぶどう(大粒種) 45a 未成園 5a	23,092	10,000	<ul style="list-style-type: none"> ・品種の組み合わせにより労力分散を図るとともに、早期着果調節など省力技術の導入や疎植、低樹高化により作業性と受光環境を向上する。 ・地域の特性に応じた品種、栽培方法、栽培面積の組合せを検討する。 	中北 峡東
No. 5 果樹複合	経営面積 150a もも(早生種) 50a もも(中生種) 60a すもも(中生種) 20a すもも(晩生種) 15a 未成園 5a	24,617	10,218	<ul style="list-style-type: none"> ・もも、すももは、労力分散が可能な品種構成とするとともに、疎植、低樹高化により作業性と受光環境を向上する。 ・地域の特性、顧客のニーズに応じた品種、栽培方法、栽培面積の組合せを検討する。 	中北 峡東

営農類型	経営規模	粗収益 (千円)	農業 所得 (千円)	経営のポイント (品目・品種構成、栽培技術など)	想定 地域
No. 6 果樹複合 (観光)	経営面積 190 a おうとう 70 a もも(早生種) 25 a もも(中生種) 50 a すもも 40 a 未成園 5 a	29,664	10,129	<ul style="list-style-type: none"> ・おうとうは、一部観光摘み取り園とする。 ・すももは、棚栽培により高品質化を図る。 ・品種の組み合わせにより労力分散を図るとともに、早期着果調節など省力技術の導入や疎植、低樹高化により作業性と受光環境を向上する。 ・地域の特性に応じた品種、栽培方法、栽培面積の組合せを検討する。 	中北 峡東
No. 7 野菜+水稲 (露地)	経営面積 433 a スイートコーン 200 a なす 33 a 野沢菜(春、秋) 100 a 水稲 100 a	23,724	10,145	<ul style="list-style-type: none"> ・スイートコーンは系統出荷品種とし、トンネル栽培の組み合わせにより労力を分散する。 ・輪作によって連作障害を回避する。 	峡南
No. 8 野菜専作 (施設)	経営面積 180 a 施設きゅうり(半促成) 90 a 施設きゅうり(抑制) 90 a	44,865	10,275	<ul style="list-style-type: none"> ・暖房コストの低減に留意する。 	中北
No. 9 野菜専作 (施設)	経営面積 50 a 施設いちご 42 a 育苗ハウス 8 a	17,854	10,078	<ul style="list-style-type: none"> ・暖房コストの低減に留意する。 	中北 峡東
No. 10 野菜専作 (施設)	経営面積 100 a 施設トマト(半促成) 50 a 施設トマト(抑制) 50 a	30,716	10,075	<ul style="list-style-type: none"> ・品種や作型の組み合わせにより作期を分散し、労力を平準化する。 	中北
No. 11 水稲+野菜 (露地)	経営面積 352 a 水稲 100 a なす(夏秋) 32 a スイートコーン 200 a カリフラワー 20 a	22,949	10,822	<ul style="list-style-type: none"> ・品種や作型の組み合わせにより作期を分散し、労力を平準化する。 ・連作障害を回避するため、ほ場をローテーションする。 	中北

営農類型	経営規模	粗収益 (千円)	農業 所得 (千円)	経営のポイント (品目・品種構成、栽培技術など)	想定 地域
No. 1 2 花き専作	経営面積 9 0 a シンビジウム 90 a	64, 575	10, 000	<ul style="list-style-type: none"> ・開花株は山上げ栽培により花芽分化を確保する。 ・品種の組み合わせにより、年内出荷を主体とした有利販売を目指す。 ・3年づくりを基本とする。 	峡東
No. 1 3 花き複合	経営面積 1 1 5 a シクラメン 50 a その他鉢花 65 a	55, 205	10, 301	<ul style="list-style-type: none"> ・シクラメンを基幹品目として春～秋の鉢花を組み合わせることで施設を有効に利用するとともに、底面給水等の省力化技術によりコストを低減する。 ・設備投資や運転資金が大きいいため資金繰りを検討する。 	中北
No. 1 4 酪農 (自給飼料型)	飼養頭数 7 0 頭 ホルスタイン種 経産牛 50 頭 育成牛 20 頭	56, 873	6, 287	<ul style="list-style-type: none"> ・牛舎はスタンション(繋ぎ飼い)とし、自給飼料と購入飼料を混合または分離給与する。 ・1 頭当たりの年間乳量は、9, 000kg を確保する。 ・牛乳販売、子牛販売、堆肥販売、飼料補てん収入を含む。 	中北
No. 1 5 肉用牛 (繁殖肥育一貫)	飼養頭数 1 3 0 頭 黒毛和種繁殖牛 30 頭 黒毛和州肥育牛 100 頭 (年間出荷頭数 40 頭)	52, 660	7, 682	<ul style="list-style-type: none"> ・棚卸繁殖肥育一貫経営に取り組み、素牛導入費用の削減及び増体と肉質に優れる肥育素牛を 29 ヶ月で出荷し高収益を目指す。棚卸しは差し引き 0 とする。 ・ふんは堆肥化して販売。 ・肥育牛 1 頭が出荷までに係る費用を計算しているため、年間経費ではない。 	中北
No. 1 6 養豚 (一貫)	飼養頭数 母豚 2 0 0 頭 LW・系統種 200 頭 種雄豚 (DB 種他) 8 頭 育成雌 40 頭 肥育豚 常時 2, 000 頭	171, 010	7, 122	<ul style="list-style-type: none"> ・県銘柄種豚を利用した養豚経営を対象に、生産マニュアルの遵守及び衛生管理の徹底により育成率の向上(離乳時 95%)を図る。 ・予防注射、駆虫、豚舎消毒の徹底により事故率 2%以下を確保する。 ・ふんは発酵処理して販売、尿は活性汚泥法により処理。 	中北

営農 類型	経営規模	粗収益 (千円)	農業 所得 (千円)	経営のポイント (品目・品種構成、栽培技術など)	想定 地域
No. 1 7 採卵鶏 (平飼い)	飼養羽数 6,000 羽 採卵専用種 (成鶏常時 5,500 羽)	62,669	6,637	<ul style="list-style-type: none"> ・大雛（120日齢）で年3回導入。 ・簡易ビニールハウス等を利用した低コスト化と家畜福祉（アニマルウエルフェア）に配慮し、販売は、固定客を中心に直売、ネット販売等を活用。 ・鶏舎の定期清掃、衛生対策の徹底により疾病発生の低減。 	中北 富東
No. 1 8 肉用鶏	飼養羽数 5,000 羽 甲州地どり (常時 500 羽)	23,784	5,060	<ul style="list-style-type: none"> ・県銘柄地どり生産を対象に、生産量は、1鶏舎あたり2.5回転を基本とし、生産マニュアルの遵守及び衛生管理の徹底により育成率の向上を図る。 ・簡易な鶏舎により施設投資の抑制を図る。 ・衛生管理の徹底により育成率、商品化率の向上を図る。 (育成率 98%) 	中北 富東

(2) 高収益農家経営実践モデル

< 高収益農業経営実践モデルの一覧 >

営農 類型	経営規模	粗収益 (千円)	農業 所得 (千円)	○作目 (作型) ○経営のキーワード
No. 1 果樹専作	経営面積 115a 日川白鳳(施設) 15a 日川白鳳 10a 夢桃香 10a 夢みずき 10a 白鳳 15a 浅間白桃 15a なつつこ 20a 川中島白桃 20a	30,659	15,383	○施設もも+露地もも ○施設栽培に露地栽培の多品種を組み合わせ、作業の分散と家族労働力の効率的な活用 ○ももの低樹高・疎植栽培による作業効率の改善 ○県オリジナル品種の導入による有利販売
No. 2 果樹専作	経営面積 85a シャインマスカット (超早期) 10a シャインマスカット (早期) 15a 種なし巨峰 (短梢・雨よけ) 10a ブラックキング 10a 種なしピオーネ 10a シャインマスカット 10a シャインマスカット (短梢・雨よけ) 20a	35,077	20,309	○施設ぶどう+露地ぶどう ○施設栽培に露地栽培の多品種を組み合わせ、作業の分散と家族労働力の効率的な活用 ○ぶどうの短梢剪定栽培や簡易雨よけの導入による作業効率の改善 ○県オリジナル品種の導入による有利販売
No. 3 果樹複合	経営面積 95a シャインマスカット (超早期) 10a シャインマスカット (早期) 10a 種なし巨峰 (短梢・雨よけ) 15a シャインマスカット (短梢・雨よけ) 30a 白鳳 10a なつつこ 10a 川中島白桃 10a	35,067	20,031	○施設ぶどう+露地ぶどう+露地もも ○施設栽培に露地の品目・品種を組み合わせ、作業の分散と家族労働力の効率的な活用。 ○ぶどうの短梢剪定栽培や簡易雨よけ、ももの低樹高・疎植栽培による作業効率の改善
No. 4 果樹複合	経営面積 125a ソルダム 10a サマーエンジェル 15a 貴陽 (棚) 20a 太陽 15a 種なし巨峰 (短梢・雨よけ) 25a シャインマスカット (短梢・雨よけ) 40a	25,979	15,385	○露地すもも+露地ぶどう ○露地栽培の品目・品種を組み合わせ、作業の分散と家族労働力の効率的な活用 ○すももの棚栽培、ぶどうの短梢剪定栽培や雨よけによる作業効率の改善

営農 類型	経営規模	粗収益 (千円)	農業 所得 (千円)	○作目（作型） ○経営のキーワード
No. 5 果樹複合	経営面積 190a 高砂（施設） 10a 佐藤錦（雨よけ） 35a もも（早生種） 20a もも（中生種） 45a もも（晩生種） 20a 大和百目（あんぽ柿） 60a	36,794	15,467	○施設おうとう+露地おうとう+露地もも+加工柿 ○施設栽培と品目、品種、加工を組み合わせ、作業の分散と家族労働力の効率的な活用 ○ももの低樹高・疎植栽培による作業効率の改善 ○加工柿の導入による周年生産
No. 6 果樹複合 （大規模 法人）	経営面積 530a もも（早生種） 60a もも（中生種） 180a もも（晩生種） 60a もも（宅配） 100a 種なし巨峰（短梢・雨よけ） 30a シャインマスカット（短梢・雨よけ） 50a 甲州百目（ころ柿） 50a	101,429	47,323	○露地もも+露地ぶどう+加工柿 ○大規模果樹法人 ○品目・品種を組み合わせ、作業の分散と雇用労働力の有効活用、周年生産 ○宅配や観光による有利販売 ○ももの低樹高・疎植栽培、ぶどうの短梢剪定栽培や簡易雨よけによる作業効率の改善
No. 7 果樹複合 （大規模 法人）	経営面積 400a もも（早生種） 60a もも（中生種） 170a もも（晩生種） 60a もも（宅配） 30a 種なし巨峰（短梢・雨よけ） 30a シャインマスカット（短梢・雨よけ） 50a 仕入れ販売、土産	213,747	70,164	○露地もも+露地ぶどう+仕入れ販売等 ○大規模果樹法人 ○品目・品種を組み合わせ、作業の分散と雇用労働力の有効活用 ○宅配や観光、仕入れ販売、土産などより収益を確保 ○ももの低樹高・疎植栽培、ぶどうの短梢剪定栽培や簡易雨よけによる作業効率の改善
No. 8 果樹主体 複合	経営面積 135a 佐藤錦（観光） 70a 大和百目（あんぽ柿） 30a いちご（施設） 35a	40,552	15,708	○観光おうとう+加工柿+施設いちご ○観光農園を主体に加工を組み合わせた周年生産により収益を確保
No. 9 野菜専作 （施設）	経営面積 180a トマト（長期多段どり） 180a 養液栽培	209,520	54,718	○施設トマト（養液栽培、周年生産） ○参入企業によるオランダ型温室を利用した野菜の施設栽培（長期多段どり）周年雇用による安定経営

営農 類型	経営規模	粗収益 (千円)	農業 所得 (千円)	○作目 (作型) ○経営のキーワード
No. 1 0 野菜複合 (施設)	経営面積 230 a きゅうり(ハウス抑制) 60 a 養液栽培 きゅうり(ハウス半促成) 60 a 養液栽培 トマト(ハウス抑制) 55 a 養液栽培 トマト(ハウス半促成) 55 a 養液栽培	69,015	15,154	○施設きゅうり(養液栽培) + 施設 トマト(養液栽培) ○養液栽培技術の導入、スーパーへ の直接販売や直売の実施
No. 1 1 野菜専作 (施設)	経営面積 65 a トマト(長期どり) 65 a 養液栽培	44,135	16,351	○施設トマト(養液栽培、長期ど り) ○先進養液栽培技術の導入、量販店 との契約栽培による安定的な販路 確保
No. 1 2 大規模・ 作業受託	経営面積 4,600 a ソバ 1,500 a 大豆(転作) 1,300 a 水稻(作業受託) 1,800 a	46,546	18,963	○秋そば+大豆+水稻(作業受託) ○大規模栽培及び作業受託による収 益性向上、地元加工施設等への販 路確保 ○ソバ、大豆は水田転作
No. 1 3 花き専作	経営面積 80 a コショウラン(大輪) 20 a コショウラン(中輪) 20 a コショウラン(ミディ系) 40 a	348,800	19,122	○洋ラン(コショウラン複合) ○コショウランの一貫生産体制、大 規模化による収益性向上、販路確 保
No. 1 4 肉用牛	飼養頭数 1,300頭 肉用牛交雑種肥育	479,000	31,000	○交雑種肥育経営 ○低コスト肉用牛生産と独自ブラン ド化による有利販売
No. 1 5 採卵鶏	飼養頭数 76,000羽 平飼い 38,000羽 ゲージ飼い 38,000羽	552,000	28,000	○採卵経営 ○平飼いによる鶏卵生産、県内外ス ーパー等への販路確保、直売所 での鶏卵・加工品の販売